

会員倍加で府下5番目の城北支部を結成

## 第2回理事会 役員会で楽しい行事を企画

# 大阪府連通信

日本中国友好協会  
大阪府連合会  
〒530-0012

大阪市北区  
芝田2-3-19  
東洋ビル本館207  
TEL06-6372-8131  
FAX06-6372-8132  
郵便振替口座  
00970-5-8978  
E-mail: info@  
jcfaosaka.org  
[http://  
jcfaosaka.org/](http://jcfaosaka.org/)

5月12日国労会館で第2回理事  
会が20名の参加で行われ、石井勉  
議長に選出、渡辺武会長の挨拶、  
松尾豊理事長が議案提案、近藤好  
幸事務局長が会計報告を行い、参  
加者全員発言で討論しました。

文化講座シリーズ第1回は下定  
雅弘岡山大名誉教授を迎え、29日  
も毎月発行している」（西支部）  
など各支部の充実した活動が発言  
され元気の出る理事会になりました。

「平和展で寺が池などの展示を行  
い対話になつた、共同の広がりで  
来年は長谷川テルの展示を、公開  
講座や行事参加者から入会があつ  
た」（堺支部）「昨年5月から懇  
親会や行事を重ねて、会員を倍加

行ないます。講演会を成功させようと訴えがありました。中国が世界の中心になる時代を迎えて、中国への関心に応える活動を広げ、会員を拡大し、12月と3月の百科検定を積極的に取り組むことになりました。



## 撫順市代表団と懇談交流

した。中国共産党撫順市委員会書記の来鶴氏

習会など楽しい企画が定着してきた」（女性部）「結成7年多くの疑問に応えながら運営している、帰国者との交流会には中国領事館の紹介で豊岡から参加者がありびっくりしている」（東大阪支部）「4原則から5原則へ支部活動を前進させている、行事は毎月・役員会は定期的に行い支部ニュース

撫順市代表団と懇談交流した。中国共産党撫順市委員会書記の来鶴氏 来阪した撫順市代表団と4月21日夕刻より懇談しました。東京の「再生の大地合唱団」の姫田光義団長（中央大学名誉教授）から山本副会長に撫順市代表団が来阪するので、その際懇談交流してほしいとの要請があり実現したものです。あいにく会長の都合がつかず、山本副会長、松尾理事長で対応しました。 関空には山本副会長が出迎えました。 今後の相互交流を約すなど和やかに懇談を終えました。（松尾豊）

良さん、中共撫順市順城区委書記の田旭さんの5名と、「再生の大地合唱団」の橋本聰さんが同行されました。来団長は大使館勤務経験もあり日本語が堪能でした。府連の活動を紹介し、

市長に撫順市商務局長の齊本義さん、民政局長の劉平さん、中共撫順市東洲区委書記の張玉田さん、中共撫順市順城区委書記の田旭さん、中共撫順市東洲区委書記の張玉田さん、中共撫順市順城区委書記の田旭さん、

戦争責任問題などに取り組む複数の市民団体でつくる実行委員会が主催する「アジアから間われる日本の戦争展」が4月29、30日に阿倍野市民学習センターで開かれました。サブイベントとして29日午後、アジア民衆歴史センターの久保井規夫さんが「日清・日露戦争と韓国『併合』百周年、3・1抗日独立闘争」の講演をされました。講演では朝鮮の植民地支配の実態を、明治から昭和にかけて膨大な資料を基に、絵で見るプロジェクトを映写で2時間にわたりテーマごとに詳しく解説されました。

堺支部は中国での毒ガス大規模使用について、日本軍の毒ガス戦略問題の概略を展示。西支部・平澤京子さんの感想は「昨年西支部主催の日清戦争

学習会に参加、今回は絵で見る「日清・日露戦争と韓国『併合』」の策動」に参加しました。多くの資料の中に朝鮮半島に誇らしげに揃って立つ『神功皇后・豊臣秀吉・加藤清正・西郷隆盛』の錦絵がありました。

1894年日本は朝鮮農民反乱鎮圧のために清国が出兵した事に対抗し出兵。中国攻撃の足がかりに脅しと暴力で朝鮮を占領します。『朝鮮独立のため』と世界を欺いて清国軍を攻撃した日清戦争から1919年200万人が立ちあがった『3・1独立運動』まで、残された当時の数々の錦絵や外国記者の写真が侵略の旗（旭日旗）のもと日本を殺、虐殺行為を明らかにしてい

## 府連文化講座シリーズ第1回講演会

## 漢詩、漢文に親しもう — 元号「令和」にもふれて —

5月29日(水) 14時から

## 国労大阪会館 第2小会議室

参加費 1000円 (会員は無料)

講師：下定雅弘 岡山大学名誉教授

## 程永華中国大使が交代

## 第65回大阪府連大会を告示します

大阪府連会長 渡辺武

6月23日（日）13：30

国労会館 議案書は6/5号付録

仲間増やしや不再戦平和、文化活動、全国大会目標達成などについて討議・交流します。



# この3年で大きく変化した暮らし

## 中国最新報告② 福建省廈門と福州を訪ねて

廈門から福州を訪問するチヤンスが訪れた。教え子結婚式招待があり、合わせて空海祈念堂・開元寺訪問を訪問することにした。

### サービスは確実に向

2018年5月26日、卢銀花さん(廈門大学卒業生)の結婚披露宴に参加するため閑空へ。福建省廈門→漳州→福州への一人旅。

今回は3年ぶりの訪中。少し緊張を覚える。この訪問で、中国の変化と最新状況を知りたいと思った。宴に参加するため閑空へ。福建省廈門→漳州→福州への一人旅。

閑空の廈門行きのゲートは人で溢れていた。団体客は200人程度、個人客は70人程度が並んでいた。そのほとんどが中国の若者。子ども連れも数組見かける。

30分程度並び、スーツケースを預け・航空券の発行。その後、手荷物検査・出国審査で30分。計1時間かかる。

飛行機は廈門航空のMF840便。機内は、驚いたことに満席である。8~9年前は、大半が日本人で座席も空いていた。隔世の感がある。見ると、乗客はみなスマート(智能手机zhi neng shou ji)をのぞき込んでいた。

閑空を19時20分定刻に離陸。客室乗務員の仕事ぶりやサービス、中国人乗客のマナーは確実に向

上していた。

段に厳しくなっていた。驚いたのは、入国審査である。以前は黄色

い。指紋も取る。まず、左手4本。次に右手4本の指紋を撮影。最後に両手の親指の指紋を取る。これは、厳しい!

新造の潜水艦の試験

潜水中の事故で亡くなつた88名の慰靈碑

あり、ここにも知らなかつた事実があ

りました。

新造の潜水艦の試験

潜水中の事故で亡くなつた88名の慰靈碑